

# 厚生文教委員会報告書

平成28年5月23日

備前市議会議長 田 口 健 作 殿

委員長 鵜 川 晃 匠

平成28年5月23日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

案 件	審査結果	備 考
1 公共交通についての調査研究 ① シャトルバスの物損事故について（報告）	継続調査	—



## 厚生文教委員会記録

招集日時	平成28年5月23日（月）		全員協議会閉会后	
開議・閉議	午前11時47分	開会 ～	午前11時54分	閉会
場所・形態	委員会室A・B	閉会中の開催		
出席委員	委員長	鵜川晃匠	副委員長	星野和也
	委員	橋本逸夫		津島 誠
		守井秀龍		立川 茂
		山本 成		森本洋子
欠席委員		なし		
遅参委員		なし		
早退委員		なし		
列席者等	議長	田口健作		
	委員外議員	なし		
	紹介議員	なし		
	参考人	なし		
説明員	市民生活部長	大西武志	公共交通課長	坂本基道
傍聴者	議員	なし		
	報道関係	なし		
	一般傍聴	なし		
審査記録	次のとおり			

## 午前11時47分 開会

○**鵜川委員長** お疲れさまでございます。

ただいまの御出席は8名でございます。定足数に達しておりますので、これより厚生文教委員会を開会いたします。

執行部からの報告をお受けいたします。

○**坂本公共交通課長** それでは、公共交通課から無料シャトルバスの物損事故について報告をさせていただきます。

この路線は、備前焼ミュージアムから備前長船刀剣博物館のシャトルバスでございます。

事故の状況につきましては、4月23日土曜日の午前11時ごろでございます。備前焼ミュージアムを出発いたしまして刀剣博物館に到着ということで、刀剣博物館にはバス乗り場を決めておりまして、そちらにバックで駐車をする際に事故が発生したものでございます。乗り場の刀剣博物館には、駐車スペースを確保するために三角コーンを置いておりまして、それを運転手が一旦おりて移動させようとしたときに無人のバスが前進したということでございまして、急いで車両に乗りましてそれをとめようとしたんですけれども、前方に駐車していた無人の車両にバンパーが接触したということでございます。

事故の原因につきましては、ドライバーの初歩的なミスによるものでございまして、フットブレーキは踏んでいたもののシフトパーキングのボタンを入れていなかったために動いてしまったということでございます。現在は損害賠償金額につきまして相手方と協議をしております、金額が確定次第専決処分に対応し、6月定例会での報告を考えております。

この事故を踏まえまして、市営バスの運行管理者を通しまして、対象のドライバーにはいま一度車両の操作方法を熟練させ、出発時の点呼の際には必ず注意喚起をするというようなことで、再発防止に努めていきたいと思っておりますので御理解をいただきたいと思っております。

○**橋本委員** その当該運転手は二種免許を持っておられるんですか。

○**坂本公共交通課長** 二種免許を持っておりますが、この車両がハイブリッド車両でございまして、ボタンを押し忘れたということでございます。

○**橋本委員** フットブレーキというて説明されたんですけれども通常であればサイドブレーキ。

○**坂本公共交通課長** フットブレーキを踏んだんですけれども、パーキングボタンを押してなかったという状況です。それで動いてしまったと。

○**橋本委員** それは当然普通動くでしょ。だから、二種免許持っとんじゃろかなと思うて。無人だということは、つまりバスほとんど利用しようらんと。もう事故を起こしたことは人間だから当然ミスはあるということでそれは仕方がないけど、需要のないところに走らすこと自体が私はおかしいと思うんですが、そこら辺根本的なことは考えられんのんですか。

○**坂本公共交通課長** 利用者が少ないのは、何とか少しでも乗ってもらおうと努力をしております、ミュージアムの担当者とも協議をして少しでも乗っていただけるような方法を検討中でござ

ざいます。申しわけないです。

現在のところ、四、五人は乗ってくださっています。

○橋本委員 今まで全部で何回運行して四、五人なのか、私ははっきり言うけど、ええかげんにはやめましょう。想定よりも物すごく需要がないんじゃないから、そんなところに走らすような財政的な余裕は備前市にはないと思うんですけれども、いかがでしょうか。

○坂本公共交通課長 4月16日から、土日、祝日、ちょっとカウントはできていないんですけれども、現在まで1日休館日がありましたけれども、その回数でございます。

○鶴川委員長 ほかにございませんか。

○守井委員 物が動けばいつどういうことが起きるかわからない中でいかに事故を減らしていくかということが重要なことだと思うんです。そういった中で、公共交通だけではなく、今回の議案にも出ておりました、衛生の関係で事故があると、あるいはまた道路の関係でグレーチングが外れて事故があるとか、そういう案件がずっと続いていると。これは市内全般でそういう問題をなくしていく一つの方針をぜひ立てていただきたい。お考えがありましたら一言だけ部長にお願いしたいと思います。

○大西市民生活部長 委員御指摘のとおりでございます。当然私どもの部では、先ほど申されましたように環境についても、それから公共交通につきましても多数の車両を抱えております。その運転の基本的な道路交通法自体がおろそかになる部分が多々あるということで、事故でありますので注意しても起こり得ると。対応としては、とにかく毎日始業とかに点検をしながら啓発をしていくというのが重要であると思います。全体を通して努めてまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

○鶴川委員長 ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、質疑を終結いたします。

以上で厚生文教委員会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

午前11時54分 閉会